

# 「中央新幹線南アルプストンネル新設（長野工区）工事における環境保全について（南アルプストンネル（長野）・小渋川橋りょう・小渋川変電所敷地造成）」に対する助言

## 1 全般

工事の実施及び工事用車両の運行に当たっては、「中央新幹線南アルプストンネル新設（長野工区）工事における環境保全について（南アルプストンネル（長野）・小渋川橋りょう・小渋川変電所敷地造成）」（以下「環境保全計画書」という。）に記載した環境保全措置を確実に実施するとともに、必要に応じて追加の環境保全措置を検討し、地域住民の生活環境及び自然環境への影響を回避又は最大限低減するよう努めること。

## 2 植物

- (1) トダイアカバナ及びニセキンブチゴケの移植地については、光環境や水分条件などの環境条件が重要であることから、移植前の生育環境と移植先の環境に関する調査結果を示し、移植先の選定経緯を明確にすること。
- (2) トダイアカバナの生育状況の写真については、個体の判別が可能な時期に撮影すること。また、トダイアカバナ及びニセキンブチゴケ両種についての生育地や移植地の写真は、周囲の環境が分かるように適切な時期とスケールで撮影すること。
- (3) ニセキンブチゴケについては、光環境は明るい条件が適しているという情報もあることから、移植地の状況を継続してモニタリングし、必要に応じて適切な光環境を確保するための植生管理を行うこと。

## 3 景観

- (1) 橋りょうの防音防災フード、坑門部、吹付コンクリートについて、景観に配慮した色合いを検討すること。
- (2) 計画地周辺では、南アルプスの重厚な景観が形成されていることから、近隣の集落、夕立神パノラマ公園、三伏峠小屋からの景観への影響の有無について、環境保全計画書に記載すること。

## 4 騒音

計画地近隣には集落や宿泊施設が存在することから、橋りょう工事に伴う騒音の影響を最大限低減するよう努めること。また、騒音に関する意見や要望等が寄せられた場合には、必要な対策を検討すること。